

ドライブレコーダーを活用した道路情報の取得、分析等に関する実証実験の実施

当社は、日々の郵便・荷物の輸配送で使用する車両に搭載されるドライブレコーダーおよびAI技術を活用し、道路状況に関する情報を選択的に収集・分析することにより、地域の生活環境の維持・改善に有益な情報の提供可能性について、検討しています。

今般、高速道路を走行する輸送車両を活用した以下の取組（「本取組」といいます。）を実施します。

1 実施目的

道路工事現場、道路損傷状況等に関する画像および位置情報を地図会社、モビリティ関連会社等に提供することにより、道路インフラの維持・改善やモビリティ分野の課題等の解決に資する仕組み作りを目指すため、本取組を実施します。

2 実施概要

検出対象	高速道路上の工事箇所、道路損傷状況等を示す画像および位置データ
設置対象車両	日本郵便輸送株式会社(※)が運用する車両
取得データの取扱い	<ul style="list-style-type: none">取得したデータは、ドライブレコーダーに組み込まれたコンピューティングシステム（AI）により、個人情報に該当する情報（個人の顔、ナンバープレート等）の匿名化（ぼかし処理によるマスキング）を行った上で分析します。取得したデータは、当社が本取組のパートナーとして契約した会社が分析および加工します。道路インフラの維持・改善およびモビリティ課題等解決の検証のために、取得したデータ（匿名化済み）を地図会社、モビリティ関連会社等に提供する場合があります。取得したデータは、本取組の目的以外の用途で利用することはありません。
撮影期間	2025年1月下旬～2025年12月末日
撮影範囲	車両(10台程度)の前方風景
撮影エリア	首都高速道路 (車両の走行状況等の都合上、首都高速道路への進入前および退出後も撮影が行われる場合がありますが、首都高速道路外で取得された画像は本取組には利用しません。)

(※)日本郵便輸送株式会社は、郵便物及び郵便事業に関連する物品の運送事業等を行うグループ会社です。

3 本取組終了後の取得データの扱い

本取組で取得した元データは、概ね二週間程度保存し、順次削除します。

4 取得情報の処理のフロー

本取組におけるデータの取得および処理のフローは、以下のとおりです。



5 問い合わせ先

[日本郵便株式会社 お客様サービス相談センター](#)